

令和6年度 経営発達支援事業実績報告

赤穂商工会議所

＜赤穂商工会議所の経営発達支援計画の概要＞

実施期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）
目 標	地域総合経済団体及び小規模事業者支援機関として、激変する経済環境に対応するため、経営発達支援計画に基づき、事業者に寄り添った伴走型の支援を行い、売上・収益の増進に向けて個社の経営力を高めるとともに、地域経済を支える小規模事業者の持続的発展に向けて、 『小規模事業者の経営の安定・継続・成長・新分野創出を目指す』ことを目標とし、以下のことに取り組んでいく。 ①経営力の向上による足腰の強い小規模事業者の育成 ②域外に向けた販路開拓支援の強化 ③事業承継や第二創業による地域の新陳代謝の促進 ④地域資源を活用した地域経済活性化の推進 ⑤全職員の資質向上による経営支援力の強化

＜令和6年度経営発達支援計画の実績＞

1. 地域の経済動向調査に関すること

評価：A

(1)実施計画

- ①地域経済調査・分析（年1回）
- ②赤穂市景気動向調査（四半期毎）

(2)実施内容

①地域経済調査・分析

赤穂市の人口推移、市民所得、産業構造（業種別）、市場分析、景気動向、観光動向等の情報を収集し、「赤穂経済2024」としてホームページで公表するとともに、事業計画の策定に活用した。

②赤穂市景気動向調査

管内中小・小規模事業者を対象に地域の景況を調査・分析し、支援業務に役立てるとともに、会報やHP、地元ミニコミ紙により管内小規模事業者への情報提供を行った。

(3)実施結果

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
地域経済調査・分析	1回	1回	1回	
赤穂市景気動向調査（四半期毎）	4回	4回	4回	

2. 需要動向調査に関すること

評価：B

(1)実施計画

- ①牡蠣料理のアンケート調査
- ②商店街（小売店）利用調査
- ③観光客ニーズ調査

(2)実施内容

①牡蠣料理のアンケート調査

牡蠣料理の情報発信事業参加の55店舗の内の33店舗において、来店客に対して、料理の満足度、店舗の雰囲気、スタッフの対応、再来店の可能性などについて、Google フォームによるアンケート調査を実施、集計結果を各店舗にフィードバックした。

②商店街（小売店）利用調査

イオン赤穂店において、消費者の購買動向や価値観、興味・関心などに関する情報を収集・分析するための消費者アンケート調査（回答数134件）を実施し、事業計画の策定を検討する小規模事業者や商店街へフィードバックした。

③観光客ニーズ調査

（財）ひょうご観光本部が実施している観光客ニーズ調査

市内観光の主要地点において、観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の調査結果をHPに掲載し周知を図るとともに、事業計画策定の際の参考資料とした。

(3)実施結果

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
牡蠣料理のアンケート調査支援事業者数	33 者	50 者	33 者	
商店街（小売店）利用調査支援事業者数「消費者アンケート調査」	5 者	5 者	8 者	調査データ活用者
観光客ニーズ調査	6 者	5 者	6 者	〃

3. 経営状況の分析に関すること

評価：B

(1)実施計画

小規模事業者においては、自社の分析ができていない事業者はほとんどいないため、当所の各種セミナー受講者や、経営指導員による巡回・窓口相談において現状をヒアリングすることにより前向きな事業者を抽出する。また持続化補助金等の申請時においても、必要性を理解していただいた上で、対象者として選定する。

(2)実施内容

巡回・窓口相談、セミナー等を通して、事業者の現状と課題についてローカルベンチマークなどを活用してSWOT分析や財務分析を行った。

(3)実施結果

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
経営分析事業者数	32 者	30 者	30 者	補助金申請 4 者 融資 9 件 その他 17 件

4. 事業計画策定支援に関すること

評価：A

(1)実施計画

- ①DX推進セミナー等
- ②事業計画策定セミナー
- ③事業計画策定支援

(2)実施内容

①DX推進セミナー等

A. 生成AI活用セミナー

日 時 令和6年12月4日
場 所 赤穂商工会館
参加者 17名
講 師 中小企業診断士 村上 知也 氏
内 容 生成AIの現状、使い方、様々なツールの活用法など



B. ショート動画制作講座（基本編）

日 時 令和7年1月15日
場 所 赤穂商工会館
参加者 15名
講 師 モバイルエール 代表 橘 明日香 氏
内 容 スマホを使った撮影テクニック、動画編集アプリ、生成AIの活用について



C. ショート動画制作講座（応用編）

日 時 令和7年1月24日
場 所 赤穂商工会館
参加者 16名
講 師 モバイルエール 代表 橘 明日香 氏
内 容 動画編集の手順、ショート動画の活用方法、SNSで発信



②事業計画策定セミナーの開催

第1回目

日 時 令和7年1月16日
場 所 赤穂商工会館
講 師 中小企業診断士 上吉 隆一 氏
参加者 8名
内 容 事業環境の分析、自分の強みと問題点・課題の整理



第2回目

日 時 令和7年1月20日
場 所 赤穂商工会館
講 師 中小企業診断士 上吉 隆一 氏
参加者 8名
内 容 具体的なプラン作り、補助金採択のポイント

③事業計画策定支援

事業計画策定のための基礎知識を学んでもらうためのセミナーや、ITツール活用のための講座を実施した。また、国の小規模事業者持続化補助金や県の新事業展開応援事業、起業家助成金などの補助金申請に当たっての事業計画書の作成支援や計画書のブラッシュアップのための補助金審査会を1回実施した。

(3)実施結果

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
D X推進セミナー等	3 回	3回	3回	
事業計画策定セミナーの開催	2 回	2回	2回	
事業計画策定事業者数	21 者	15者	18者	専門家活用 6 回

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

評価：A

(1)実施計画

事業計画を策定した事業者を対象に、担当経営指導員が定期的に訪問し、フォローアップシートを用いながら、立案した事業計画の進捗管理を確認し、改善等の支援を行う。

(2)実施内容

事業計画を策定した事業者を対象に経営指導員による巡回や窓口相談により進捗状況を確認し、改善策等の提案や専門家と連携しながら計画の見直しを含めた支援を行った。

(3)実施結果

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
フォローアップ事業者数	15 者	15者	17者	
訪問延べ回数	64 回	60回	88回	
売上の増加事業者数	6 者	5者	9者	
利益率 5 %の事業者数	2 者	5者	3者	営業利益・経常利益比較

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

評価：B

(1)実施計画

- ①「ザ・ビジネスモール」の登録勧奨（B to B）
- ②SNS活用
- ③ネットショップ開設（B to C）
- ④兵庫・神戸アライアンス商談会への参加勧奨（B to B）
- ⑤岡山県しんきんビジネス交流会出展勧奨（B to B）

(2)実施内容

- ①大阪商工会議所が運営する取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」の登録勧奨（BtoB）
登録なし
- ②SNS活用
インスタグラム、グーグルビジネスプロフィールなどのSNSについて巡回・窓口相談時での提案やセミナーを通じて利用、活用方法を学んでいた。
- ③ネットショップ開設（BtoC）
独自の販売サイトの開設や楽天、アマゾンなどのモール型サイトの活用を推進した。
- ④兵庫・神戸アライアンス商談会への参加勧奨（B toB）
エントリーなし
- ⑤岡山県しんきんビジネス交流会出展勧奨（B toB）
出展なし

(3)実施結果

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
ザ・ビジネスモール新規登録事業者数	1者	5者	0者	
成約件数/者	0件	1件	0件	
S N S活用事業者数	8者	5者	7者	
売上増加率3%/者	3者	5者	6者	
ネットショップ開設事業者数	1者	3者	2者	
売上増加率5%/者	1者	3者	0者	
兵庫・神戸アライアンス商談会参加事業者数	0者	3者	0者	
成約件数/者	0件	1件	0件	
岡山県しんきんビジネス交流会出展事業者数	0者	3者	0者	
成約件数/者	0件	1件	0件	

その他

項 目	R5 実績	R6 年度		備 考
		目標	結果	
さんもく楽市出店	1者	—	2者	

7. 経営指導員等の資質向上等に関すること

評価：A

(1)実施計画

- ①外部講習会等の積極的活用
- ②O J Tの推進
- ③職員勉強会の開催
- ④データベース化

(2)実施内容

- ①外部講習会等の積極的活用

兵庫県商工会議所連合会の指導員研修・人材育成研修、日本商工会議所、当所W E Bセミナー、ポリテクセンターの生産性向上セミナー等を受講した。

- ②O J Tの推進

その他にO J Tとして、日常業務の中で、経営状況のヒアリングから、融資の斡旋、各種補助金に関わる計画書の作成や申請手続きなど、巡回訪問での同行や窓口相談時に同席することで、若手職員の資質向上を図った。

- ③職員勉強会の開催

職員勉強会を開催し、業務の中及び事業者の販促に活用できる I T活用や各種制度、支援施策等について職員間で講師となりノウハウ提供や情報の共有を行った。

④データベース化

経営支援システムのT O A Sに巡回・窓口相談での指導・支援内容を入力し、職員全員情報共有することで各自の支援能力の向上に努めた。

(3)実施結果

項 目	結 果	備 考
兵庫県商工会議所連合会の指導員研修・人材育成研修等の受講	8名/16回	
生産性向上研修	1名/1回	
日本商工会議所研修会（W E B含む）	5名/11回	
他支援機関等研修会	7名/11回	
職員勉強会の開催	4回	
全職員ミーティング	月1回	
グループ別職員ミーティング	毎週1回	

その他にO J Tとして、日常業務の中で、経営状況のヒアリングから、融資の斡旋、各種補助金に関わる計画書の作成や申請手続きなど、巡回訪問での同行や窓口相談時に同席することで、若手職員の資質向上を図った。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(1)実施計画

- ①市内金融機関との経営研究会の開催（年3回）
- ②他商工会議所との情報交換（年3回）
- ③日本政策金融公庫姫路支店（国民生活事業）との連携（年1回）

評価：A

(2)実施内容

①市内金融機関との経営研究会の開催

第1回

実施日 令和6年10月3日
 参 加 11名
 内 容 ・メンバーからの事例発表
 ・兵庫県よろず支援拠点の活動紹介
 チーフコーディネーター 井床利之 氏

第2回

実施日 令和6年12月3日
 参 加 10名
 内 容 ・メンバーからの事例発表
 ・最近の経営状況と公庫の取り組み
 日本政策金融公庫融資第二課長 上田和樹 氏・課長代理 村橋大地 氏

②他商工会議所との情報交換

A. 関西商工会議所連合会中小企業相談所長会議

開催日	11月25日
内 容	中小・小規模事業者施策の動向、先進事例研修など
参 加	1名

B. 兵庫県商工会議所連合会説明会

開催日	3月14日
内 容	2025年度兵庫県予算説明
参 加	1名

C. 播但地区商工会議所職員交流会

開催日	9月19日
内 容	業務効率化への取り組みについて
参 加	2名

開催日	1月24日
内 容	業務効率化への取り組みについて
参 加	2名

D. 播磨圏域商工会議所連絡会

開催日	11月13日
内 容	ものづくりに関連するシーズ・ニーズ等の情報交換
参 加	1名

開催日	1月24日
内 容	ものづくりに関連するシーズ・ニーズ等の情報交換
参 加	1名

③日本政策金融公庫姫路支店（国民生活事業）との連携

日本政策金融公庫姫路支店との連絡会議

開催日	11月1日
内 容	各会議所、商工会管内地域の情勢、経営支援の取り組みなどの情報交換
参 加	1名